

震災後のすみやかな復興に向けて



阪神・淡路大震災時、火災が発生した神戸市長田区



阪神・淡路大震災から復興した神戸市灘区六甲道駅南地区



㈱地域計画連合撮影

阪神・淡路大震災から復興した神戸市長田区新長田駅南地区

- ・ 関東地方南部では、今後 30 年以内にマグニチュード 7 クラスの大地震が発生する切迫性が高いとされており、その際には、建物の倒壊や火災延焼など、広範囲で被害の発生が想定されています。
- ・ そして、大きな被害を受けた場合、復旧から復興までには長い年月を要することとなります。
- ・ 円滑な復興のためには、まずは災害リスクを正しく理解するとともに、被災した場合を想定した備えが必要となってきます。
- ・ この冊子では、復興都市づくりの流れや、平時から市民の皆さんに取り組んでいただきたい内容などをまとめました。

○ この冊子について

この冊子は、市が平成 27 年 3 月に策定した川崎市防災都市づくり基本計画（※）の「Ⅲ. 復興都市づくり」を基に、市民の皆さんに取り組んでいただきたいことなどを整理したものです。



※ 川崎市防災都市づくり基本計画について

川崎市防災都市づくり基本計画は、防災に関連するこれまでの一連の取組を踏まえ、被害を軽減するために効果的な予防対策を定めるとともに、被災後の質の高い復興を迅速に進めるため復興都市づくりのプロセスを事前に整理しています。さらに、予防対策と復興対策の両面を兼ね備えた計画として、今後めざすべき方向性を市民等と共有し、いつ発生してもおかしくない大規模災害に備えることを目的とした計画です。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

震災後のすみやかな復興に向けて

発行日：平成 29(2017)年 3 月

問合せ先：川崎市まちづくり局 計画部 都市計画課

川崎市川崎区宮本町 1 番地

電話番号：044-200-2033

F A X：044-200-3969

メールアドレス：50tosike@city.kawasaki.jp

※掲載写真は特記以外神戸市提供